

指導の手引き sheet_number 7 文ぼう具②

pencil case	pen- にアクセント。	ペンケース、筆箱
英語らしい音を出すコツ	「ケース」でなく「ケイス」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など		

pencil sharpener	pen- と shar- にアクセント。	えんぴつ削り
英語らしい音を出すコツ	sharpener の p と n はつなげて発音。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	sharp は形容詞「鋭い」。Sharp + en で動詞「とがらせる」⇒ sharpen + er 「鋭くするもの」	

ruler	ru- にアクセント。	定規、ものさし
英語らしい音を出すコツ	r は舌が歯に触れないように。l は舌先が上の歯の裏に付くように。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	rule は動詞。「まっすぐにする、糺す」。転じて「定規」になった。	

stapler	ta- にアクセント。	ホッチキス
英語らしい音を出すコツ	s と t をつなげて発音する。練習は tapler, tapler, tapler, stapler と、リズムカルに3回言ってそのまま stapler と続けるとよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	ホッチキスは、この道具を最初に製造した会社の名 (E. H. Hotchkiss) だとのこと。	

scissors	最初の i にアクセント。	はさみ
英語らしい音を出すコツ	「スイザズ」と発音。「ザ」はアメリカ英語では舌の丸めを伴う、「ザ」と「ズ」の間のような、曖昧な音として発音する。これは真似できなくても良い。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。しかし常に複数形。-s を付けて使う。正確には These are my scissors. 「これは私のはさみです。」 Those are your scissors. 「あれがあなたのはさみです。」	
文化的な情報、応用表現など	児童にとっては、複数形だと意識して使いこなすことは難しいが、教員は児童に英語らしい英語を聞かせる努力をするとよい。	